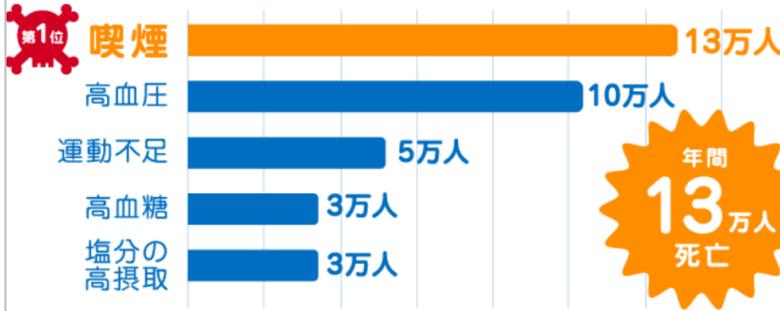


週刊 **タバコの正体**

日本人が命を落とす最大の原因がたばこ

わが国におけるリスク要因別の関連死亡者数
-男女計(2007年)上位5位-

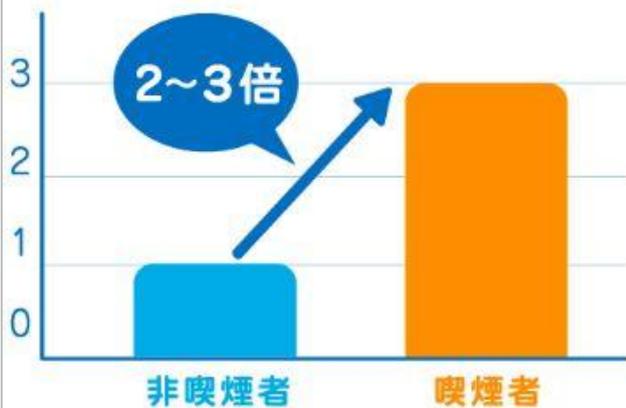


年間
13万人
死亡

タバコには5300種類以上の化学物質と70種類以上の発ガン物質が含まれていて、さまざまな病気の原因になる事が分かっています。だから、左図のように年間13万人もの人が喫煙によって亡くなっていると言われていています。また死亡に至らなくても認知症になるリスクが2~3倍になるそうです。

そして、下図のように喫煙者本人だけではなく受動喫煙の被害をうけて1万5千人が亡くなっているとされています。

認知症のリスク



このように、喫煙が原因で亡くなる人は年間約15万人におよび、毎日400人以上が亡くなっている計算になります。

毎日400人もの命が奪われ続けている状況は非常事態と言えないでしょうか。タバコが日常的なモノであってはいけないと思いませんか。

産業デザイン科 奥田 恭久

**受動喫煙との関係が
確実な病気**

- 脳卒中
- 虚血性心疾患
- 肺がん
- 乳幼児突然死症候群



**受動喫煙と関係する
可能性がある病気**

成人

鼻腔・副鼻腔がん、乳がん
慢性閉塞性肺疾患(COPD)、
喘息の発症・重症化

胎児・
小児

低出生体重、胎児発育不全、
喘息の発症・重症化、中耳疾患、
う歯(虫歯)、呼吸機能低下

(厚生労働省検討会報告書 喫煙と健康 2016)

受動喫煙によって
1年間に奪われたと
推計される命

1万5千人 <男性5千人>
<女性1万人>

(平成27年厚労科学 片野田班)